

<集中ウォーク 2019>

横浜みなとみらい 象の鼻パークに集合!

日 時:2019年11月9日(土) 天候:晴れ時々曇り

集 合:横浜港みなとみらい「象の鼻パーク」 14:00

参加者:(順不同) 勅使河原 吉越 平嶋 小作 神谷 平石 熊坂 仲 高橋文 伊藤眞 青松 平山 奈良 清水正
森川 小島 畠 吉田正 佐藤よ 荒波 熊島 長廣 鈴木淳 中村年 井内 宮野 市村 中村ゆ 平林 志村
奥村 鹿島 計32名

.....
《小島コース》 14000歩 約9km

●横浜駅→本覚寺(青木城址)→幸ヶ谷公園(権現山城址)→神奈川台場跡→横浜中央市場→ポートサイド公園→
高島中央公園→陸軍護衛空母「山汐丸」の錨→新港埠頭ハンマーヘッド→象の鼻パーク(ゴール)

📍 先に着いていた皆さんは、全員の到着を“鼻を長〜くして”待っていた!?

朝はやや冷え込んだが、青空が広がると気温も平年並みになり、気分も爽やかな秋の一日となった。この集中ウォークは、自分でコースを考えてゴールを目指す企画。自宅から歩く人、近くの駅から“省エネ”で歩く人、同行して歩く人とそれぞれの形で集合場所の「象の鼻パーク」には32名が集結。土曜日で晴天とくれば絶好の行楽日和、何処も人出が多かった。

まだ工事中の横浜駅から、東横線の線路跡のフラワー緑道を歩き、本覚寺〜幸ヶ谷公園を經由し神奈川台場跡を確認。中央市場の食堂街で早めのランチをとり、ポートサイド公園から高島中央公園へ。園内は翌10日の横浜マラソンに備えて仮設トイレが列をなしていた。陸軍が空母?・・・高層ビルの谷間には、その「山汐丸」の赤さびた錨が鎮座し往時を偲ばせる。

時間に余裕があるので、10月31日にオープンした複合施設「横浜ハンマーヘッド」を見学。家族連れや若いカップルらで館内はごった返していたが、人々の楽しそうな姿を見ていると・・・日本は平和な国だなとつくづく思ってしまう。

最後は各自感想を述べ、豪華客船をバックに集合写真を撮り解散となった。参加された皆さんお疲れ様でした。



<まさに“秋の日は釣瓶落とし”・・・夕日を浴びた象の鼻パークで大栈橋の豪華客船を背に全員集合>



スタートは横浜駅西口。まだ工事中でした。



東横線の軌道跡。現在はフラワー緑道となっている。



2011年に開通した高島山トンネル。



トンネルの手前を本覚寺へ上がる。(青木城址)



ここはアメリカ領事館跡。



質素で趣のある山門。



大きな屋根の本堂と紅葉。



かつては左の青木城跡と右の権現山城跡は一つの山(丘陵)だったと思われる。



権現山城跡（上杉方の城）は幸ヶ谷公園となっている。この公園へは神奈川駅の横からかなり上ること。



片隅に説明版。ここにも本覚寺とは丘陵繋がりがある。幕末から明治には山が削られ土は埋め立てに使われた。



洲崎大神。かつて参道は船着き場へと繋がっていた。



頼朝が安房一宮の安房神社の霊をここに移したとも。



店が殆どない宮前商店街。



なかなか面白い小学校の案内。



第一京浜国道の歩道橋を渡る。



神奈川公園の紅葉も近い。



神奈川台場公園に到着。



詳しい案内板が完備されていた。



園内は閑散としているがかつては防空壕もあった。



近所の方が花壇にしているこの辺りも台場の跡か。



公園の近くには神奈川台場跡の碑が建っていた。



住宅の裏手に残る当時の遺構。星野町公園にもある。

●**神奈川台場**：江戸末期に勝海舟により設計され伊予松山藩が築造した台場。東京湾に侵攻してきた船舶に対する防衛を目的として築造された施設。海岸から東京湾に突き出るように埋め立てられ、他の台場には見られない船溜まりという構造を持っていた。総面積は約2万6千平方メートルで、埋立てには付近の権現山(神奈川県幸ヶ谷。現在の幸ヶ谷公園付近)の土砂が使われた。砲台を設置していたが実戦に使用されたことはなく、諸外国の貴賓が港に入った際に祝砲を上げていたという。施設廃止後の跡地は転用され、現在は JR 貨物東高島駅の敷地などとして利用されている。神奈川台場は、羽を広げたコウモリのような形をしていることから通称「コウモリ台場」とも呼ばれ、欧州の城などをモデルにして造られたとされる。実際は星形の形状で、この形の台場は「五稜郭」(北海道函館市)の台場など国内に3例しかない貴重な遺構。(資料より抜粋)



公園を出て横浜中央市場へ向かう。



それらしい雰囲気になってきた。



滝の川に架かる万代橋を渡ると・・・



中央市場本場。左は青果棟。



右には水産棟がある。



関連棟には人気の食堂街がある。



お目当ての店は何処かの組で満席！



今日はこの店でランチとした。



ランチを終えた市場の前で仲グループ5人と遭遇！



話しながら歩いたら方向が逆だった！（万代橋へ戻る）



ガトー横浜本店。デイパックだと潰れそうで買わず。(残念)



東海道線貨物支線の高島線。(近くには出川哲郎の実家も)



運河沿いポートサイド公園。やや色づいてきた樹々。



こちらは赤が目立つ。芝の広場が素晴らしい。



落葉が似合うちょっと洒落たスペースがあった。



みなとみらい大橋から見る横浜駅東口方面。右側は客船のデッキのよう横浜バイクオーター。



ここは UFO の発着基地か・・・



高層ビル街の落とし穴なのか・・・？



みなとみらいセンタービル前に置かれた錨。



かつてここには三菱重工横浜造船所があった。

●造船所と横浜を記憶する「イカリ」 (説明文より)

「このイカリは「みなとみらいセンタービル」工事中に発掘されたもので、ビル建設の一環として事業主様により設置・展示されました。この敷地には、1891(明治24)年に創業した横浜船渠株式会社がありました。その後、三菱重工業株式会社横浜造船所となり、約一千隻の船を建造しましたが、1983(昭和58)年に移転し、この地は「みなとみらい」となりました。イカリの主は陸軍航空母艦「山汐丸」(15,864総トン)です。「山汐丸」は1945(昭和20)年に建造され、油の輸送と船団護衛のため、飛行機を搭載していました。2011(平成23)年3月 三菱重工業株式会社」

●陸軍空母「山汐丸」とは・・・

旧日本陸軍は世界の陸軍史上唯一、「航空母艦」に相当する艦船を保有していた。ただ海軍の航空母艦と同じ戦術思想のものではなく、上陸作戦に舟艇と航空機を運用するため対潜護衛用だった。前者は航空母艦というより、現代でいう「強襲揚陸艦」(LHA)の性格に近いもの。また陸軍での正式呼称はどちらも「航空母艦」ではなく「特殊船」。

計画通り建造、配備されたものは神州丸(しんしゅうまる)、あきつ丸、熊野丸(くまのまる)、山汐丸(やましおまる)の4隻で、神州丸以外は飛行甲板を装備していた。ただ航空機運用については神州丸が1度、カタパルト(ケー二飛行機射出装置)による航空機射出試験を行った他、大戦中「あきつ丸」に飛行隊が編成されたことがあるだけで、航空機が実戦で運用された船はなかった。(資料より)



新港埠頭の複合施設横浜ハンマーヘッドへ立ち寄る。



10月31日に出来たばかりで館内は賑わっていた。



埠頭には潜水艦のような怪しげな船が。この船の船籍はマーシャル諸島。船の名は「ヨットA」で個人所有船。ロシアの大富豪が所有し、世界をクルーズしながらビジネスを展開しているそうです。現代の「黒船」かも！



赤レンガ倉庫ではクラシックカー展示があり、懐かしい名車たちに車にあこがれた若い頃を思い出した。



大栈橋には二隻の豪華客船が停泊していた。



ここで“爺メン75”と遭遇。(青松グループの5人)



先に着いた人たちはご褒美のビールを飲んでいた！



お疲れ気味もお喋りだけは尽きない女性陣。



全員が揃い“世話役”のお二人が司会進行。



各自のコースについて感想を話す。(同行は代表者)



※写真は順不同です。実物はもっと良いはずとご不満の方、クレーム等は一切受け付けません！



※写し漏れがあったらお詫びします。



※皆さん今日一日の出来事を思いながら、有意義だった集中ウォークはお開きとなりました。

<今日の一言>

私にとっては、毎回その土地の人々との触れ合いがある集中ウォークですが、今回も神奈川台場公園で高齢のご婦人と話す機会が有り、公園の昔の姿を知ることが出来た。「この辺りは小山で防空壕があって入ったこと。近くには桜並木があり花見ができた」等々。温故知新、昔を知る高齢者は大切にしましょう。まあ自分も高齢者の端くれですが・・・！ END